

外来診療予定表（11月）							★: 女性の医師 赤字: 変更となった診療
診療科		月	火	水	木	金	土
総合診療部 (外科・内科)	午前	★塩田美桜(外科) 第1.3.4 塩田総院長(外科) 第2	大野(外科)	大野(外科)	鈴木副院長(外科) 第1.2.3	鈴木副院長(外科)	★塩田美桜(外科)
	午後	小坂 (下肢静脈瘤専門外来) 第2.4	鈴木副院長 (炎症性腸疾患専門外来)	—	—	—	—
	午前	—	★渡部(内科) 第1.2.3	—	石澤(内科)	—	千葉大(交代制) 第1.3 石澤(内科) 第2.4 ※午後休診※
	午後	—	★渡部(内科) 受付15:30まで	★渡部(内科) 受付15:30まで	—		
	午前	大木 (肝臓内科・内科) 第1.3.4	—	—	—	—	大木 (肝臓内科・内科) 第4 ※午後休診※
	午後			由井(糖尿病外来) 初診受付16:00まで		大木 (肝臓内科・内科) 第3.4	
内視鏡 (胃・大腸)	午前	塩田総院長(胃) 第2	鈴木副院長(胃)	鈴木副院長(胃)	大野(胃)	大木(胃) 第3.4	—
	午後	★塩田美桜(大腸) 第1.3.4 塩田総院長(大腸) 第2	—	鈴木副院長(大腸)	大野(大腸)	—	
	◎内視鏡検査は事前に診察が必要となります。検査の予約のみをお取りすることはできませんので、予めご了承ください。						
脳神経外科	午前	團	—	石和田	青柳	青柳	石和田 第1.3 青柳 第2.4
整形外科	午前	塩田院長	—	塩田院長	塩田院長	塩田院長 第3	塩田院長 第2.4 ※午後休診※
	午後	—	—	—		塩田院長 (脊椎・脊髄外科外来) 第3	
	午前	—	石井(予約制) 第1.3	—	—	石井(予約制) 第2	石井(予約制) 第1.3 ※午後休診※
	午後		石井(予約制) 第3	石井(予約制)	石井(予約制)		
	午前	—	山之内	—	—	金城	岡崎 第1 山田 第3 今井 第4 ※午後休診※
	午後					金城 第4	
循環器内科	午前	亀田総合病院 (交代制)	—	中津	亀田総合病院 (交代制)	大橋	水上 第1
	午後			—			—
婦人科	午前	遠藤名誉院長	遠藤名誉院長	—	遠藤名誉院長 第2	—	遠藤名誉院長
	午後		—			遠藤名誉院長	—
サイバーナイフ 外来	午前	大木 第1.3.4	—	—	宇野 第1.2.3	—	大木 第4
	午後				—	大木 第3.4	—
脳神経内科	午前	—	片多(予約制)	平田	—	—	—
耳鼻咽喉科	午前	小谷 初診受付16:00まで	—	—	★スミス 第1.3 初診受付16:00まで	河合 初診受付11:00まで	—
	午後					—	
泌尿器科	午前	—	—	—	大林	—	柳 第3
	午後						—
◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。							
◎当日のご予約はお取りすることができません。必ず前日までにお取りください。 ◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。							
◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。また、お薬手帳もございましたら必ずお持ちください。							
◎外来受診に関する詳しい案内は『ホームページ』よりご確認ください。							
受付時間:(月～金)8:30～11:30/13:30～16:30 (土)8:30～11:30							
予約専用ダイヤル:0475-35-0002 (月～金)8:30～17:00							
※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。 ※当日予約なしで受診希望の際は電話にてご確認ください。							



医療法人SHIODA塩田記念病院広報誌

塩田記念病院だより

Vol.124 2023年11月号

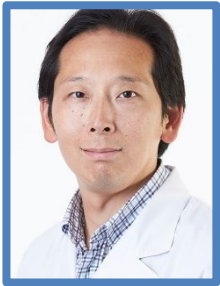
医療法人SHIODA塩田記念病院 総務課発行 ホームページ:https://www.s-fmc.jp
〒297-0203 千葉県長生郡長柄町国府里550-1 Tel:0475-35-0099 Fax:0475-35-0098

病気の豆知識～切らずに治す肝細胞癌治療～

肝細胞癌は、B型肝炎ウイルスないしC型肝炎ウイルスに感染し、長い年月を経て発症すると言われる肝臓の悪性腫瘍です。しかしながら、昨今、肥満を背景とする脂肪肝や糖尿病から肝細胞癌を発症する患者さんが増えています。肝細胞癌は早期発見できれば治癒する癌ですが、一般的に無症状のため早く見つけるためには超音波の検査が必要です。B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスに感染していなくても、肥満があって脂肪肝の心配がある方は、検診で腹部超音波検査(エコー検査)を受けることをお勧めします。この検査で肝細胞癌を早期発見することができます。

肝細胞癌は、最大腫瘍径3cm以下、3個以内で発見できれば、きちんと治る治療を選ぶことができます。以前はお腹を切って癌の部分を摘出する手術が主流でしたが、約20年前よりお腹を切らずに治す方法が登場しました。ラジオ波焼灼療法(マイクロ波も同様)という治療で、細い金属製の針を癌の部分に刺して内部に電流を流して電気の熱で焼き切ります。電気メスと同じ原理を用いたもので、もちろん痛くないように麻酔をして施行します。針を刺すだけです。傷痕はほとんど残りません。入院が必要な治療ではありますが、手術よりも回復が早く、入院期間が短期間ですむメリットもあります。治療効果は、最近の臨床試験で手術と同等と報告されています。

このような「お腹を切らない」負担の少ない治療は、低侵襲治療と呼ばれます。近年、肝細胞癌を発症する患者さんは高齢化しており、その平均年齢は73歳とされています。70歳を過ぎると癌だけでなく、心臓の病気、腎臓の病気、糖尿病など、さまざまな持病を持っていることもあり、ラジオ波治療のような体の負担が少ない治療はとても良い治療方法であると考えます。肝細胞癌は発症しないのが一番ですが、もしできてしまってもこのような治療方法で治せることを知っておいていただければ幸いです。当院ではこのラジオ波治療を積極的に行っています。



サイバーナイフセンター部長
肝臓内科部長
大木 隆正

病院からのお知らせ

■インフルエンザワクチン接種のお知らせ(完全予約制)

実施日:月曜日～土曜日(祝日除く)

時間:14:00より順次問診・接種を行います。(受付開始13:30～)

料金:4,000円(税込)
※公費負担額については各市町村までお問い合わせください。

ご予約:来院時受付またはお電話(予約センター)にてご予約をお願いします。
《予約センター》0475-35-0002 (月～金)8:30～17:00

※インフルエンザとコロナワクチンの同時接種は行っておりません。
※ワクチンがなくなり次第終了となります。



冬を元気に乗り切るために

そろそろ冬がやってきます。気温が低くなり、空気が乾燥すると、低湿度を好むウイルスや細菌は、夏よりも感染力が強くなります。寒いと人の身体も体温が下がるため、ウイルスや細菌へ対抗する免疫力が落ち、感染しやすい状態になります。マスク着用や手洗いなどの感染対策を継続するほかにも、冷え対策に適度の運動や食事で免疫力を上げたり、乾燥を防ぐために保湿などの対策をして、元気に冬を乗り切りましょう。



【院内の感染対策について】

受診や面会で来院される皆様にはマスク着用や手指消毒、面会制限などへご協力いただき感謝いたします。病院内では、病気で免疫が弱っている方など、さまざまな病気や症状で受診されている方がいます。これからさらに感染症の流行時期になりますので、引き続き院内の感染予防対策としてマスクの着用や手洗い、手指消毒、入院患者さまへの面会制限等のご協力をお願いいたします。

感染対策担当 看護師 上原 史三枝

ノロウイルス感染症の知識と対策

これからの季節に流行するノロウイルス感染症は、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こす、ウイルス性の感染症です。主に冬場に流行すると言われていますが、年間を通して発生します。また、感染力が強く、長期免疫が成立しないため何度もかかります。潜伏期間は12～48時間で、腹痛・下痢・吐き気・嘔吐の症状を引き起こします。

有効な抗ウイルス剤や治療法はありません。特に抵抗力の弱い乳幼児や高齢者が感染すると、嘔吐や下痢から「脱水症状」になりやすいため、10分間隔で一口ずつ水分補給を行って下さい。下痢により体内のウイルスを出すので、無理に下痢を止めるのは病気の回復を遅らせる可能性があります。下痢止めの使用に関しては医師または薬剤師に相談しましょう。

予防策として最も有効な対策は手洗いです。ノロウイルスにはアルコールは効きません。帰宅時、食事前には「流水・石鹸による手洗い」を行うようにしましょう。

調理の際の十分な加熱も有効です。ノロウイルスの汚染のおそれのある二枚貝などの食品の場合は、中心部が85℃～90℃で90秒以上の加熱を意識しましょう。

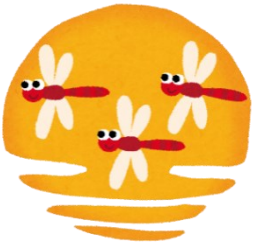


栄養科 管理栄養士 徳永 萌

栄養士の独り言

木々の色づきが鮮やかな秋を迎えました。今年も秋が短いと感じますが、金木犀の香りいっぱいに包まれると温かく幸せな気持ちになります。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年はだしについてお話をしていますが、残すところあと2回。これからの2か月は世界のだしについてお話しします。今回は西洋のだしをご紹介します。



まずはイタリアから。日本のだしに相当するのは「ブロード」と呼ばれるもの。日本ではブイヨンやブロスと呼ばれます。根菜類のみのブロードや鶏肉や牛肉を加えた肉のブロードがあります。リゾットやスープに使われます。フランスでは「フォン」と「ブイヨン」があります。仔牛や鹿、仔羊などの骨と肉、魚、野菜などから作られます。ブイヨンは丸鶏や牛のすね肉などと根菜と一緒に煮出す調理法。骨が入らないことがフォンとの違いです。どちらも香味野菜と一緒に長時間煮込んで作られます。

冬によく食べられるポトフは柔らかくなった材料を食べる料理で、この時のだし汁がブイヨンです。フォンは材料によって呼び名が変わります。仔牛を使ったものが「フォン・ド・ヴォー」で、濃厚なスープであることが特徴。素材をそのまま煮た白いフォンと素材をあらかじめ焼いてから作る茶色いフォンなど様々な作り方があります。鶏を使ったものが「フォン・ド・ヴォライユ」、こちらはあっさりとしたスープですがコクもあり、幅広く利用されます。魚のあらを使ったものが「フュメ・ド・ポアソン」、こちらは魚料理には欠かせないスープです。

日本のだしと西洋のだしとの違いについてお話しします。日本のだしの素材が主に乾物を使っていることです。さらに調理時間も日本のだしは短いのも西洋のだしとの大きな違いです。日本のだしは凝縮された旨味を短時間で抽出するという特徴があります。西洋のだしは長時間煮出します。日本のだしが短時間で風味が劣化するのに対して、西洋のだしは1～2週間の保存が可能です。材料の違いや調理法を調べてみると、味や旨味はもちろんですが、日本のだしは香りや風味を味わうという和食文化としての特徴もあると感じました。

寒くなるこれからの季節は日本のだしを使った香り豊かな鍋料理、西洋だしを使ったポトフやブイヤベースなどの洋風鍋など「だし」にこだわってお料理を楽しむのもいいですね。日本の鍋で柚子やカボスなどの柑橘類の風味を味わったり、西洋ではハーブなどの香味野菜を楽しむなど様々な温かい料理で食卓を囲まれたらいかがでしょうか。

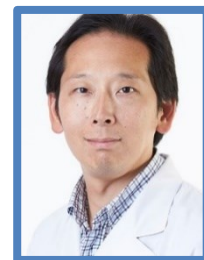
今回は西洋のだしについてお話ししました。来月は中国料理のだしについてお話しします。冬の足音が聞こえて参ります。風邪など召されませんようご自愛くださいませ。次回もお楽しみに。



参考資料 Wikipedia 日本食品成分2020 厚生労働省 日本人の食事摂取基準2020年版

栄養科 管理栄養士 戸矢 静華

医師プロフィール(大木 隆正 医師)



診療科: サイバーナイフセンター長、肝臓内科部長

専門分野: ・肝疾患 全般 ・サイバーナイフ治療 ・一般内科

対応可能な疾患・治療: ・肝炎 ・肝癌 ・各種固形癌でサイバーナイフ適応があるの

出身大学: 群馬大学、東京大学大学院

2022-2023 ベスト・ドクターズ社 ベスト・ドクターズに選出